

5 掃除

飼槽や水槽の掃除は牛の採食量を最大にする方法の一つです。また、飼槽や水槽が清潔であるということは防疫（病気にかかりにくくする）の観点からも重要です。

(1) 飼槽の掃除

新鮮なエサをきれいな飼槽で食べるとき、牛の採食量は最大になります。せっかく新鮮なエサを給餌しても、飼槽が不衛生だと牛は思ったよりもエサを食べてくれません。飼槽の掃除は新鮮なエサを効率よく食べてもらうために不可欠です。

- ・残飼は全てきれいに取り除きましょう。
- ・暑い時期は残飼が傷みやすいため、特に念入りに掃除を行います。
- ・掃除の時には飼槽の傷みなどもチェックしておくといでしょう。くぼみやはがれは飼槽掃除の効率を低下させます。

(2) 水槽、ウォーターカップの掃除

乳量によって差はありますが、牛は1日に50～150ℓの水を飲みます。水槽が汚れていれば水を飲むのをためらい、乳量を減らします。牛は水が飲めなければ、エサを十分に食べられません。そのため、きれいな水槽で新鮮な水を好きなだけ飲めることは、きわめて重要です。

- ・サイレージや配合飼料などの残りをきれいに取り除きます。
- ・内壁のぬめりなどをきれいに取り除きます。
- ・定期的に水量の確認も行いましょう。



写真21 水飲めないよ…

(3) 定期的な掃除を実施する

飼槽や水槽は掃除しないでおくと汚れがこびりつき、余計に掃除しにくくなるのでスケジュールを決めて定期的に掃除しましょう。頑固な汚れが少なければ掃除の時間も短縮され、労力の軽減にもつながります。

また、頑固な汚れには重曹を使うと効果的です。ウォーターカップの水気を取り、重曹を全面にふりかけて数分放置してから、ブラシなどでこすると汚れがとれやすくなります。



写真22 重曹での洗浄

(4) 作業と整理整頓

掃除に使う道具は整理整頓していると作業効率が高くなります。使う道具はひとまとめにしておくといでしょう。



写真23 ウォーターカップ掃除セット

